

## 教員プロフィール

①氏名:入江寿美代

②担当領域:助産学, 母性看護学

担当科目:<博士前期課程>母子看護学特論Ⅱ, 母子看護学演習Ⅱ

<博士後期課程>母子生活支援看護学演習

③研究テーマ:

新生児の睡眠-覚醒リズムの発達と同調因子に関する研究

母乳育児に関する研究

妊娠・出産環境の満足度に関する研究

④研究活動:

2003年12月 広島大学総合科学部紀要(理系編) 共著「新生児の活動-休止リズムと母親のリズムの比較」母親と新生児の活動量を活動計を用い測定した。活動-休止リズムの周期分析は最小2乗スペクトル法により計算した。この結果、生後7週前後は活動-休止リズムの発達で重要な意味を持つ時期ということが示唆された。また母親の社会的同調因子としての関与も示唆され今後の母親の行動分析も進めていく必要がある。

2014年9月 母性衛生 Vol.55 No.3 Page273 共著「出産場所選択理由と 母親の妊娠・出産に対するニーズについて」出産場所選択理由の最大条件は立地条件であり、妊婦健診などが受診しやすいことが求められている。また次回の出産場所に対する希望は出産経験を踏まえて、立地条件だけではなく医療従事者のケアの質や医療体制に関するニーズへの変化が見られていることが分かった。

⑤学生へのメッセージ

リプロダクティブヘルス/ライツの視点から、妊娠・出産・育児だけでなく、思春期や更年期・老年期までの女性とその家族に対する、より良い支援のあり方を一緒に考えていければと思います。